

実践薬学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Kurosaki T., Ueda Y., Kato Y., Nakashima M., Kitahara T., Sasaki H., Kodama Y: Effect of a novel siRNA delivery system, siRNA ternary complex, on melanoma lung metastasis. Journal of Drug Targeting : 1-10, 2024. doi: 10.1080/1061186x.2024.2362361.
2. Terada C, Oh K, Tsubaki R, Chan B, Aibara N, Ohyama K, Shibata M, Wada T, Harada-Shiba M, Yamayoshi A, Yamamoto T: Publisher Correction: Dynamic and static control of the off-target interactions of antisense oligonucleotides using toehold chemistry. Nature communications 15(1): 271, 2024. doi: 10.1038/s41467-023-44590-4.
3. Moriishi M, Takazono T, Hashizume J, Aibara N, Jimbayashi Kutsuna Y, Okamoto M, Sawai T, Hoshino T, Mori Y, Fukuda Y, Awaya Y, Yamanashi H, Furusato Y, Yanagihara T, Miyamoto H, Sato K, Kodama Y, Mizukami S, Sakamoto N, Yamamoto K, Sakamoto K, Yanagihara K, Izumikawa K, Maeda T, Nakashima M, Fukushima K, Mukae H, Ohyama K: Immune complexome analysis reveals an autoimmune signature predictive of COVID-19 severity. Clinical Biochemistry : 110865, 2024. doi: 10.1016/j.clinbiochem.2024.110865.
4. Ko T, Fumoto S, Kurosaki T, Nakashima M, Miyamoto H, Sasaki H, Nishida K: Interaction of γ -Polyglutamic Acid/Polyethyleneimine/Plasmid DNA Ternary Complexes with Serum Components Plays a Crucial Role in Transfection in Mice. Pharmaceutics 16(4): 522, 2024. doi: 10.3390/pharmaceutics16040522.
5. Kurosaki T, Nakamura H, Sasaki H, Kodama Y: Suitable Promoter for DNA Vaccination Using a pDNA Ternary Complex. Pharmaceutics 16(5): 679, 2024. doi: 10.3390/pharmaceutics16050679.

B 邦文

B-c

1. 黒崎友亮：標的指向性の自己組織化型ナノ粒子. 月刊細胞 56(5): 364-365, 2024.

B-d

1. 大山 要, 相原希美：新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)感染後に出現する抗体が認識するウイルス抗原およびヒトタンパク質についての研究. 長崎大学熱帯医学研究拠点共同研究報告集 2023: 2024.

B-e-1

1. 中嶋幹郎, 宮元敬天, 相原希美, 手嶋無限, 福地弘充, 中村 優, 田代浩幸, 西田孝洋：長崎大学薬学部5年生に対する在宅医療に関する意識調査. 日本在宅薬学会学術大会プログラム・講演抄録集(Web) 17th: 158, 2024.
2. 森 慎太郎, 松尾朋博, 柿田聖太, 本多弘幸, 荒木杏平, 光成健輔, 大庭康司郎, 望月保志, 今村亮一, 相原希美, 大山 要：Hunner型間質性膀胱炎患者における尿中免疫複合体の解析(Analysis of Urinary Immune Complexes in patients with Hunner type Interstitial Cystitis). 西日本泌尿器科学会総会抄録集 76回: 194, 2024.

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	1	1	1	9

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
中嶋幹郎・教授	評議員	日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会
中嶋幹郎・教授	JPHCS編集委員会委員、企画シンポジウム委員会委員	日本医療薬学会
中嶋幹郎・教授	薬学教育調査・研究・評価委員会ワーキンググループ委員 (F臨床薬学)	一般社団法人薬学教育協議会
中嶋幹郎・教授	九州山口地区調整機構大学委員	薬学教育協議会
中嶋幹郎・教授	薬学共用試験センターOSCE実施委員会委員	薬学教育協議会
中嶋幹郎・教授	評議員 (認定委員会委員長)	日本在宅薬学会

中嶋幹郎・教授	監事	九州山口薬学会
中嶋幹郎・教授	本部委員会委員（推進（運営）委員会委員長）	在宅医療・福祉コンソーシアム長崎

競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研究題目
中嶋幹郎・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「膀胱癌特異的な抗原とエピトープを標的とする高指向性がん免疫療法の基礎開発」
中嶋幹郎・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 挑戦的研究(開拓)「精神疾患との共生型社会実現に向けた「病気の見える化」への挑戦」
黒崎友亮・助教	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(B)「製剤学・免疫学を基盤とした粘膜投与型核酸ワクチンの開発-Covid-19予防-」
相原希美・助教	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 若手研究「抗原エピトープ解析による原発性胆汁性胆管炎の病態メカニズムの解明」
相原希美・助教	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「膀胱癌特異的な抗原とエピトープを標的とする高指向性がん免疫療法の基礎開発」
相原希美・助教	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 挑戦的研究(開拓)「精神疾患との共生型社会実現に向けた「病気の見える化」への挑戦」
相原希美・助教	公益財団法人 上原記念生命科学財団	代表	研究奨励金「SLEの病態に関連する免疫複合体抗原の特定」

特 許

氏名・職	特 許 権 名 称	出願年月日	取得年月日	番号
中嶋幹郎・教授	硝子体可視化剤	2005年10月14日	出願中	特願2005-299760
中嶋幹郎・教授	T-LEX法（ヒト肝細胞キメラマウスを用いるジェネリック医薬品の安全性評価法）	2013年3月12日	出願中	特願商願2013-17412
中嶋幹郎・教授	線維化誘導遺伝子の発現抑制剤およびその用途	2018年10月31日	出願中	特願2018-205632
黒崎友亮・助教	ガン治療薬及びガン治療方法	2020年4月30日	出願中	特願2020-080455
黒崎友亮・助教	経肺投与用ワクチン組成物	2021年4月26日	出願中	特願2021-74100
黒崎友亮・助教	薬物送達複合体	2008年9月1日	出願中	特願2008-224118
黒崎友亮・助教	抗原または薬物送達複合体	2011年2月24日	出願中	特願2012-501869
黒崎友亮・助教	アニオン性を有する新規ナノバブルポリマーリポ・プレックスの製造方法	2012年8月20日	出願中	特願2012-181409
黒崎友亮・助教	核酸送達用担体及び核酸送達複合体	2021年12月14日	出願中	特願2021-202353
黒崎友亮・助教	経肺又は経鼻投与用ワクチン組成物	2022年3月25日	出願中	PCT/JP2022/ 14205
黒崎友亮・助教	ガン治療薬及びガン治療方法	2021年4月30日	出願中	PCT/JP2021/017240
黒崎友亮・助教	核酸送達用担体及び核酸送達複合体	2022年12月12日	出願中	PCT/JP2022/ 45593

その他

学術賞受賞

氏名・職	賞 の 名 称	授与機関名	授賞理由、研究内容等
相原希美・助教	第9回 長崎大学 未来に羽ばたく女性研究者賞 優秀女性奨励賞	長崎大学	免疫複合体解析による病態関連タンパク質の同定